

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
（分担研究報告書）

相談記入シートを用いた相談/対応内容の把握・可視化と還元方法の検討  
～施設特徴に基づくがん相談周知指標の作成～

研究協力者 齋藤 弓子 国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部（研究員）  
研究分担者 八巻 知香子 国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部（部長）  
研究代表者 高山 智子 静岡社会健康医学大学院大学（教授）

研究要旨

本研究では、2016年に全国のがん診療連携拠点病院（以下、拠点病院）に導入された「相談記入シート」を用いて、施設の特徴を踏まえたがん相談の周知指標の検討を行った。

全国の拠点病院のうち研究協力に同意が得られた1施設の2019年・2020年・2021年に収集された「相談記入シート」のデータを用いて、年度ごとの相談支援センターの全利用者のうち初めて相談に訪れた者（以下、初めての利用者）からの相談件数等、「相談記入シート」の項目について記述統計量を算出した。相談支援センターの周知活動の評価として、①初めての利用者からの相談件数を該当施設の院内がん登録の症例数で除した数値、②担当医から紹介された者、③相談支援センターの利用に至るきっかけとなった情報の入手経路（a.担当医とその他の医療・福祉関係者等の医療者、b.パンフレットやインターネット・院内掲示での広報）の回答、①②③それぞれの割合の経年変化を把握した。

初めての利用者の相談件数は2019年298件（58.8%）、2020年208件（55.5%）、2021年259件（57.3%）（以下同順）であった。①院内がん登録の症例数で除して算出した初めての利用者の割合は16.9%、12.9%、15.3%であり、②担当医から紹介された者の割合は6.0%、8.7%、9.3%であった。③情報の入手経路はa.医療者18.8%、25.5%、25.1%であり、b.広報30.2%、42.8%、63.7%であった。

本研究で周知活動の評価として選定した項目は、施設の取り組みの成果を示す指標となり得ることが示された。「相談記入シート」の項目を選定して経年変化を捉えると共に、院内がん登録等の他の調査結果と合わせて指標を作成し結果を解釈することで、相談支援センターの活動の可視化につながり「相談記入シート」の活用可能性は広がると考えられた。

A. 研究目的

がん患者や家族らの複雑化する相談ニーズに適切に対応するためには、がん相談支援センター（以下、相談支援センター）での相談対応状況の迅速な把握と支援体制の整備が求められる。2022年発出の「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」（以下「整備指針」）では、外来初診時から治療開始までを目処にがん患者や家族らが必ず一度は相談支援センターを訪問することができる体制を整備することが求められており、相談支援センターの周知は重要な取組みであるといえる。既に、各施設において相談支援センターの周知のためのさまざまな取り組みがなされているが、周知状況を把握し、改善につなげるには、施設の特徴を考慮した評価指標が必要である。

そこで本研究では、2016年に全国のがん診療連携拠点病院（以下、拠点病院）に導入された「相談記入シート」を用いて、施設の特徴を踏まえたがん相談の

周知指標について検討することを目的とした。

B. 研究方法

全国の拠点病院のがん相談支援センターの担当者が登録されているメーリングリストを通じてメールを発出し、調査協力を依頼した。

研究協力に同意が得られた1施設のより、2019年・2020年・2021年に収集された「相談記入シート」のデータの提供を受け、周知活動の指標について検討を行った。

分析では、まず、各年度の「相談記入シート」より、相談支援センターの全利用者のうち初めて相談に訪れた相談者（以下、初めての利用者）からの相談件数等の全ての項目の記述統計量を算出した。次に、相談支援センターの周知活動の評価として、①初めての利用者からの相談件数を該当施設の院内がん登録の症例数で除した数値、②担当医から紹介された者、③相談支援センターに至るきっかけとなった情報入手

経路 (a.担当医とその他の医療・福祉関係者などの医療者、b.パンフレットやインターネット・院内掲示などの広報活動) の回答、①②③それぞれの割合の経年変化を把握した。調査実施期間は2024年4月1日～3月31日である。

(倫理面への配慮)

本研究は、国立がん研究センター研究倫理審査委員会の承認を得て実施した「研究課題番号:2021-30」。また、データ提供者側の施設においても施設内の倫理審査委員会に申請する等の適正な手続を踏んで、研究を実施した。またデータの授受に際しては、個人情報が含まれていないこと、含まれている場合には匿名化したことを確認したデータのみ取り扱うこととし、セキュリティ保護されたクラウド上から匿名化データにアクセスして行うこととした。

### C. 研究結果

初めての利用者からの相談に応じたがん専門相談員等の属性を表1に示す。2019年7名、2020年4名、2021年5名のスタッフが相談に応じていた。

相談支援の状況と相談支援センターの周知指標として選定した項目を表2に示す。該当施設の3年間の全相談件数は1334件であり、その内訳は2019年507件、2020年375件、2021年452件(以下同順)であった。そのうち初めての利用者からの相談件数は298件(58.8%)、208件(55.5%)、259件(57.3%)であり、いずれの年でも約6割を占めていた。①院内がん登録の症例数で除して算出した初めての利用者の割合は16.9%、12.9%、15.3%であり、院内がん登録の症例数すなわち全がん患者数に対する初めての利用者の割合は約1～2割で推移していた(表2-2)。また、②担当医から紹介された者の割合は6.0%、8.7%、9.3%、③情報の入手経路はa.医療者18.8%、25.5%、25.1%、b.広報30.2%、42.8%、63.7%であり、年々増加傾向にあった(表2-2)。

### D. 考察

本研究では、全国の拠点病院に導入されている「相談記入シート」を用いて、施設の特徴を踏まえたがん相談の周知指標の検討を行った。その結果、院内がん登録の症例数すなわち全がん患者数に対する初めての利用者の割合は約1～2割で推移しているものの、担当医からの紹介や医療者および広報により情報を得た者の割合は年々増加しており、周知活動の評価とした項目は、施設の取り組みの成果を示す指標と

なり得ることが示された。

「相談記入シート」の項目を選定して経年変化を捉えると共に、院内がん登録等の他の調査結果と合わせて指標を作成し結果を解釈することで、相談支援センターの活動の可視化につながり「相談記入シート」の活用可能性は広がると考えられた。

### E. 結論

本調査の結果より、全国の拠点病院に導入されている「相談記入シート」に沿って収集されたデータを用いて、他の調査結果と合わせて指標を作成し結果を解釈することで、施設の特徴を踏まえたがん相談の周知指標となり得ると考えられた。

今後も「相談記入シート」のデータを用いて、相談/対応内容の把握および活動の可視化、さらには臨床現場への還元方法等について、さらなる検討を重ねる方針である。

### F. 健康危険情報

特になし

### G. 研究発表

- |         |    |
|---------|----|
| 1. 論文発表 | なし |
| 2. 学会発表 | なし |

### H. 知的財産権の出願・登録状況

- |           |    |
|-----------|----|
| 1. 特許取得   | なし |
| 2. 実用新案登録 | なし |
| 3. その他    | なし |

表1 初めての利用者の相談に応じた相談員の属性

		2019 (n=7)	2020 (n=4)	2021 (n=5)
		n (%)	n (%)	n (%)
職種	看護師	5 ( 71.4 )	3 ( 75.0 )	3 ( 60.0 )
	社会福祉士	1 ( 14.3 )	1 ( 25.0 )	1 ( 20.0 )
	事務員	1 ( 14.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 20.0 )
就業形態	常勤	3 ( 42.9 )	2 ( 50.0 )	2 ( 40.0 )
	非常勤	4 ( 57.1 )	2 ( 50.0 )	3 ( 60.0 )
勤務形態	専従 (8割以上)	4 ( 57.1 )	2 ( 50.0 )	3 ( 60.0 )
	専任 (5割以上8割未満)	2 ( 28.6 )	2 ( 50.0 )	2 ( 40.0 )
	兼任 (5割未満)	1 ( 14.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )

表2-1 相談支援の状況

	2019 (n=507)	2020 (n=375)	2021 (n=452)
	n (%)	n (%)	n (%)
初めての利用者	298 ( 58.8 )	208 ( 55.5 )	259 ( 57.3 )
院内がん登録の症例数で除して算出した初めての利用者の割合	- ( 16.9 )	- ( 12.9 )	- ( 15.3 )

表2-2 相談支援センターの周知指標

		2019 (n=298)	2020 (n=208)	2021 (n=259)
		n (%)	n (%)	n (%)
担当医からの紹介	あり	18 ( 6.0 )	18 ( 8.7 )	24 ( 9.3 )
	なし	280 ( 94.0 )	190 ( 91.3 )	235 ( 90.7 )
情報入手経路	医療者 (担当医、その他の医療・福祉関係者)	56 ( 18.8 )	53 ( 25.5 )	65 ( 25.1 )
	広報 (パンフレット・紹介カード、インターネット、院内掲示)	90 ( 30.2 )	89 ( 42.8 )	165 ( 63.7 )